子どもが真ん中の学級づくり

体験学習サイクル×ホワイトボード・ミーティング®

埼玉県三郷市立新和小学校　教諭
池谷裕次
（ホワイトボード・ミーティング®認定講師）

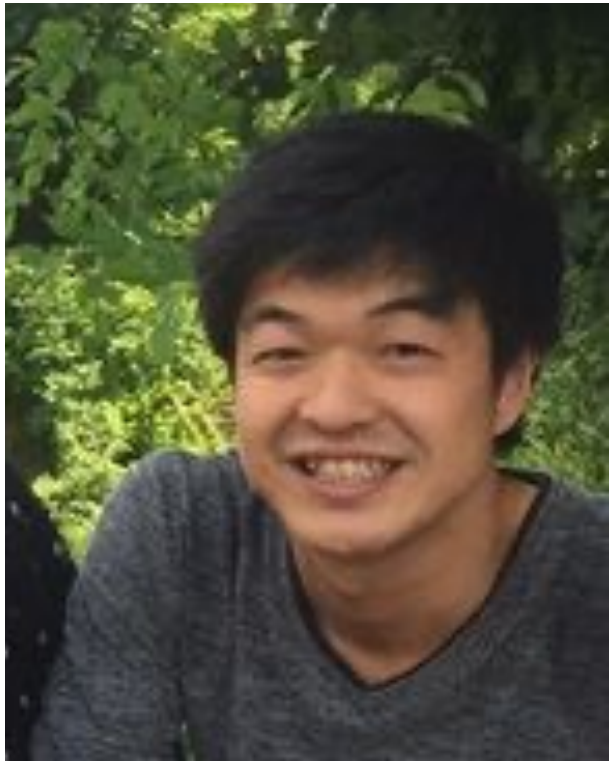
発表の流れ

□１ 自己紹介
□２ クラスの様子
□３ 体験学習サイクル
□４ ホワイトボード・ミーティング®
□５ まとめ

発表の流れ

□１ 自己紹介
□２ クラスの様子
□３ 体験学習サイクル
□４ ホワイトボード・ミーティング®
□５ まとめ

1　自己紹介



池谷裕次（いけや　ひろつぐ）

埼玉県 公立小学校教諭　５年生担任

神奈川県 箱根町出身

ファシリテーションを学級に

（作家の時間　PA　等　ワークショップ型の授業）

ボランティア活動

（キャンプ　地域活動）

発表の流れ

■１　自己紹介
□２　クラスの様子
□３　体験学習サイクル
□４　ホワイトボード・ミーティング®
□５　まとめ

２　クラスの様子

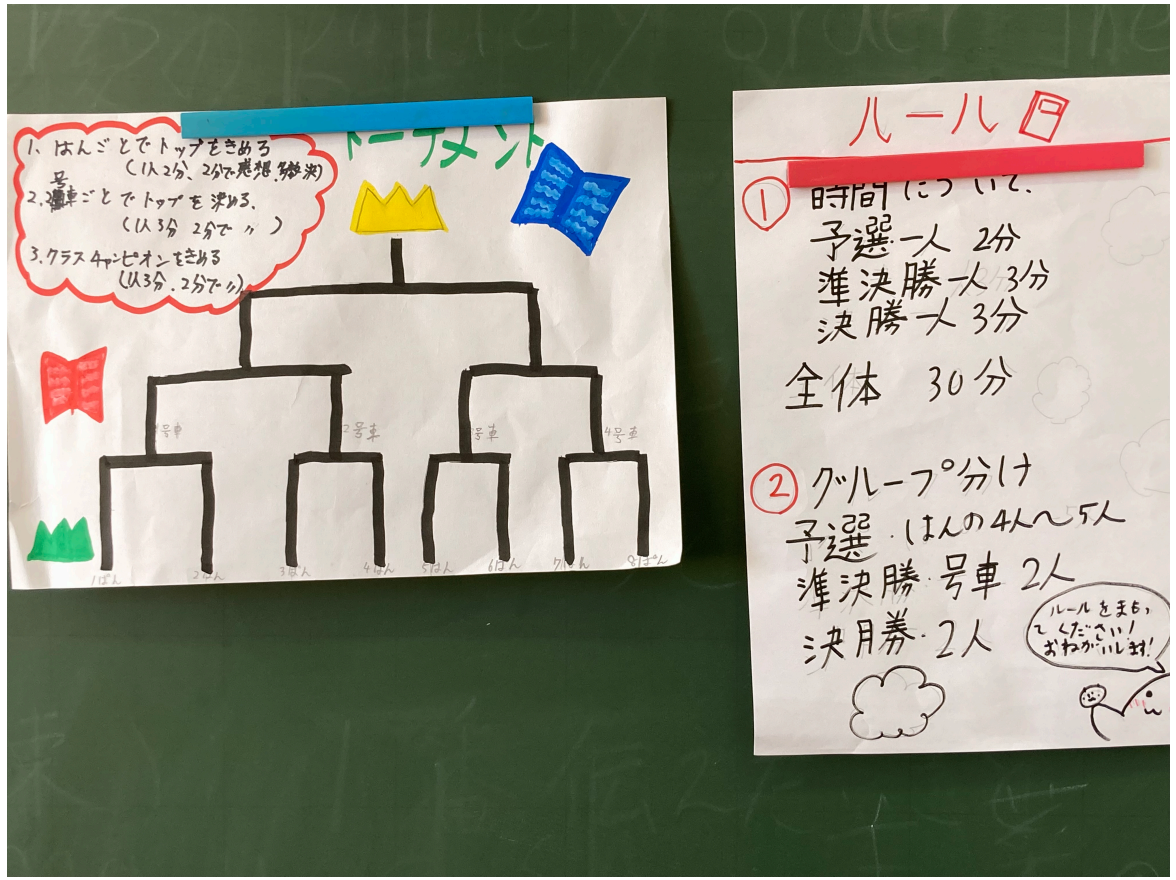
子どもが真ん中の学級づくり

２　クラスの様子

運動会練習～本番

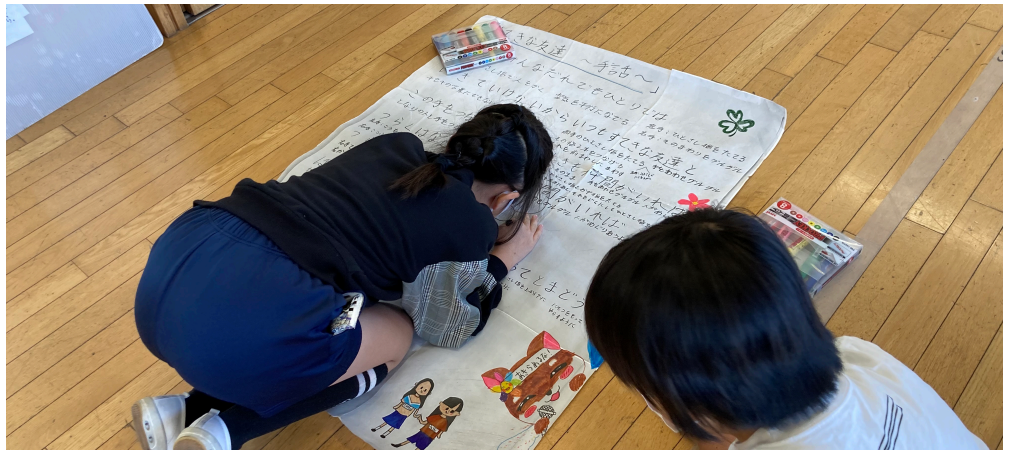
2　クラスの様子

係活動　読書係　ビブリオバトルを企画



２　クラスの様子

主体的活動　朝の会　今月の歌の手話



子どもが真ん中の学級

学級づくりで大切にしていることを具体的に言うと

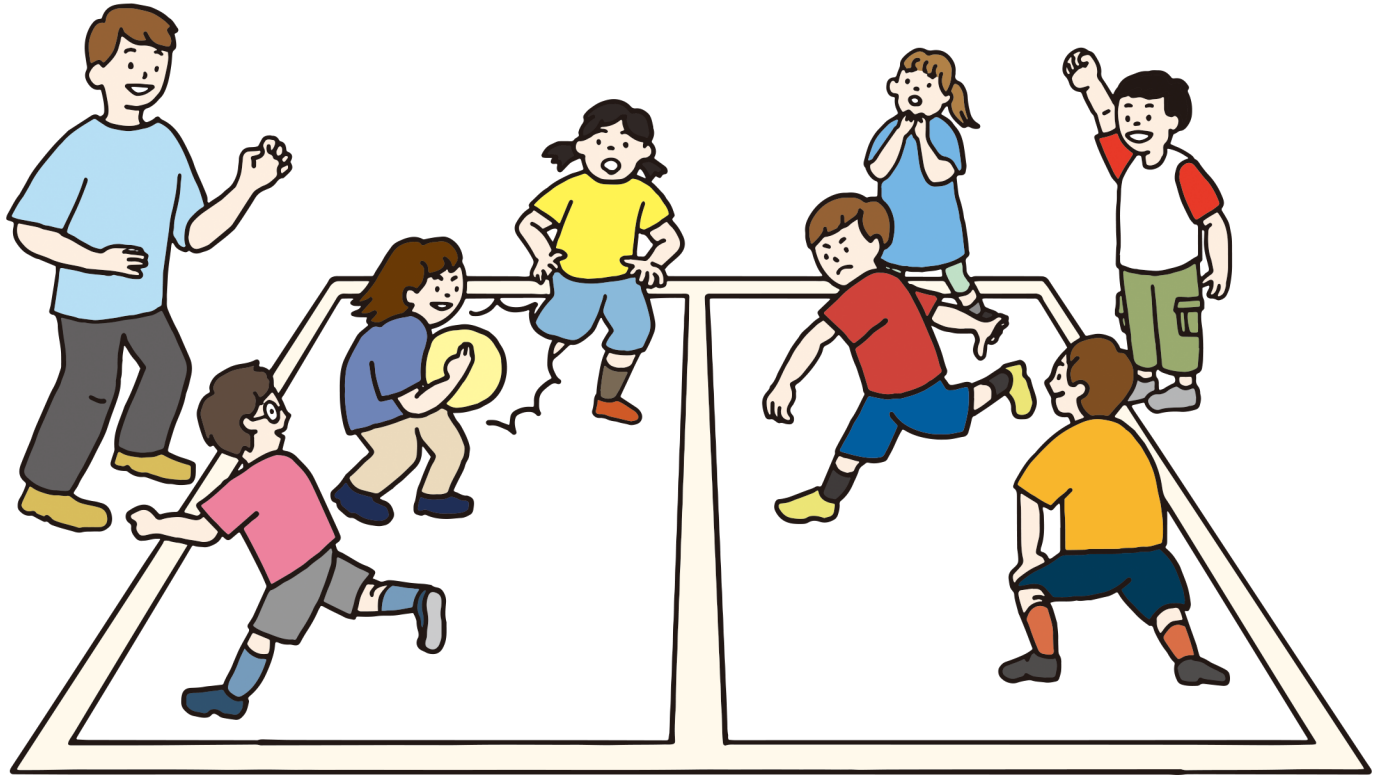
子ども達が学びの主人公

そのための１つめの柱が

発表の流れ

■１　自己紹介
■２　学級の様子
□３　体験学習サイクル
□４　ホワイトボード・ミーティング®
□５　まとめ

体験学習サイクル

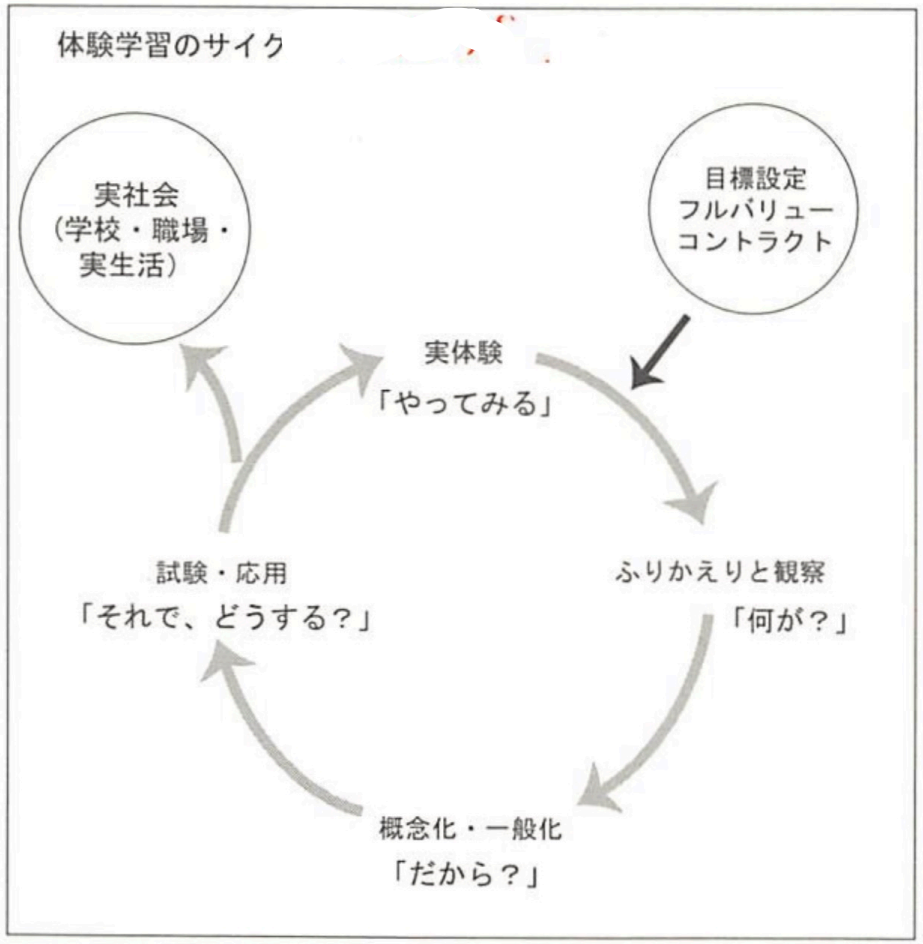


3　体験学習サイクル

体験学習サイクルとは？

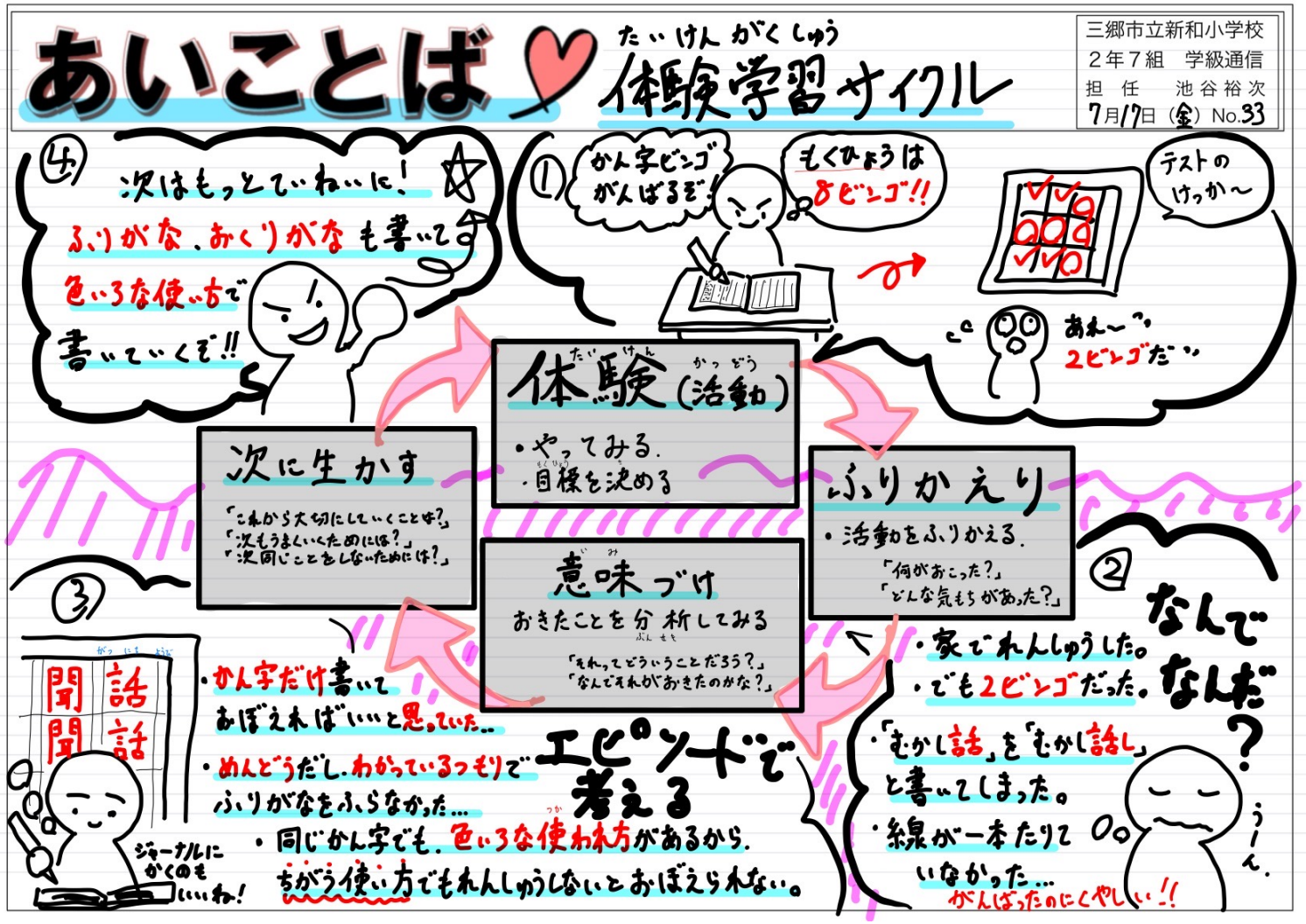
ディビッド・コルブ（David Kolb）が提唱
ー4段階の過程で起こる学びは最も効果的であるー
という理論を土台にした考え方

①実体験（活動）　「やってみる」
②ふりかえりと観察「何が？」
③概念化・一般化　「だから？」
④試験・応用「それで、どうする？」

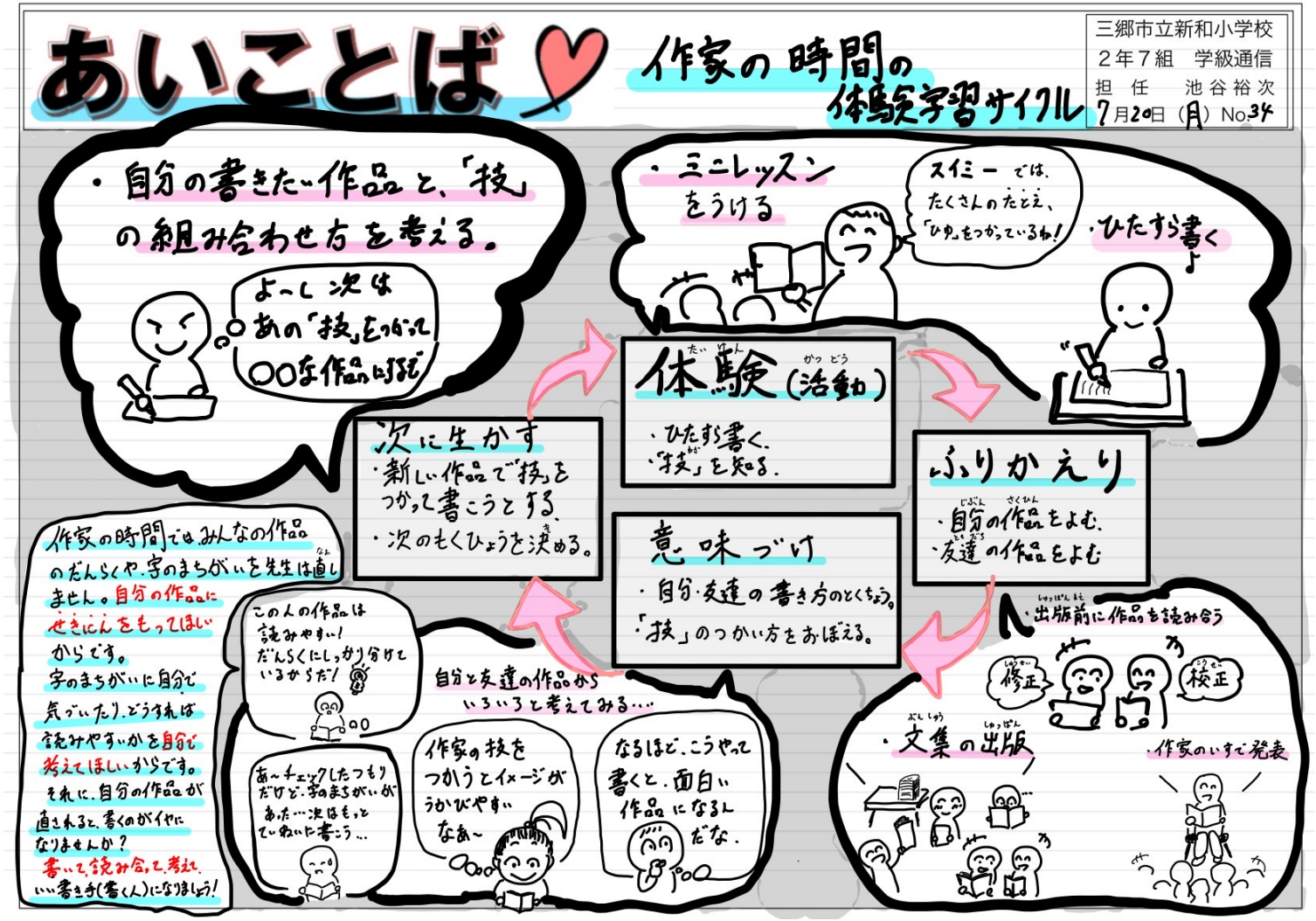


引用「クラスの力を生かす教室で実践するプロジェクトアドベンチャー」　2013　みくに出版
プロジェクトアドベンチャージャパン著　P.42「体験学習のサイクル」

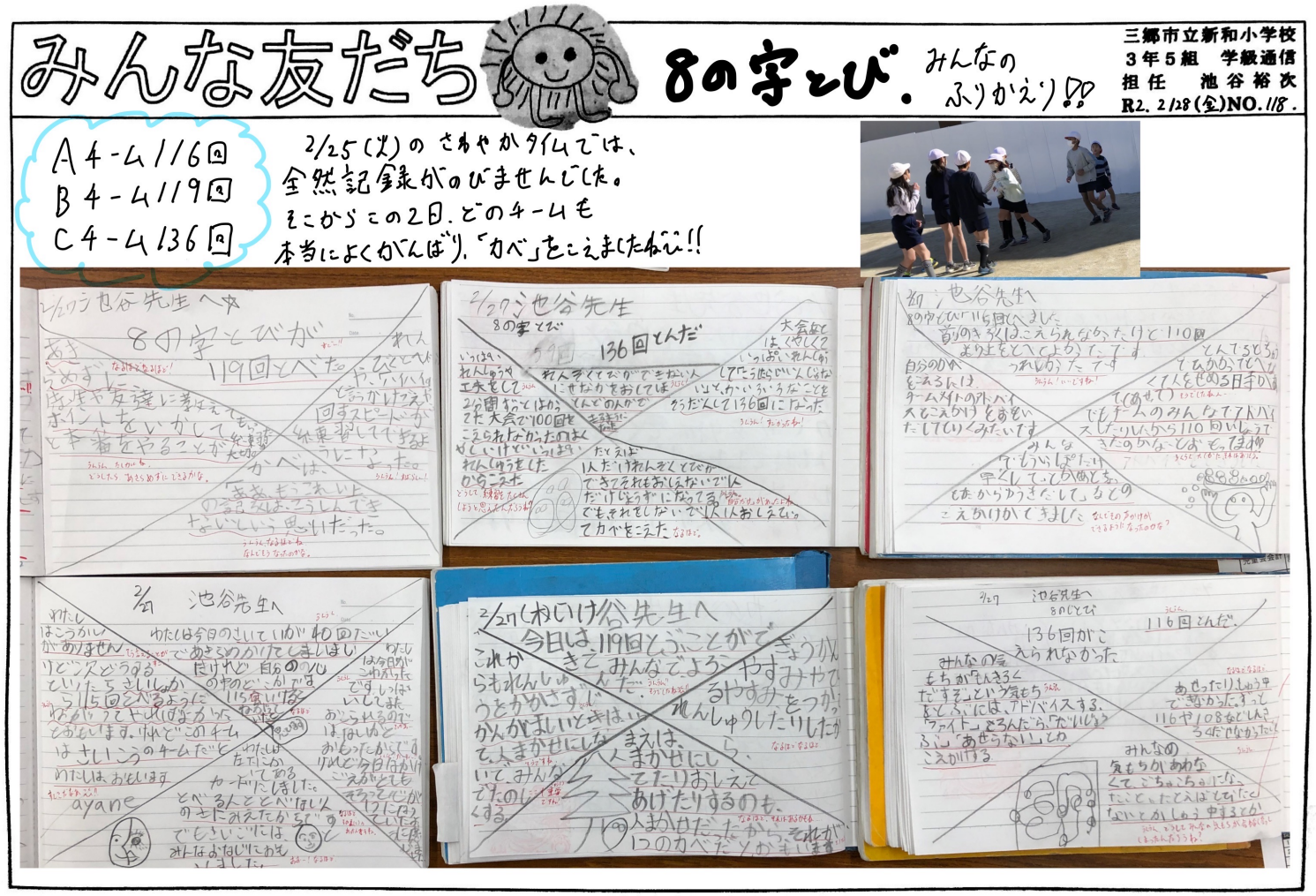
実際の場面①　学級通信で説明



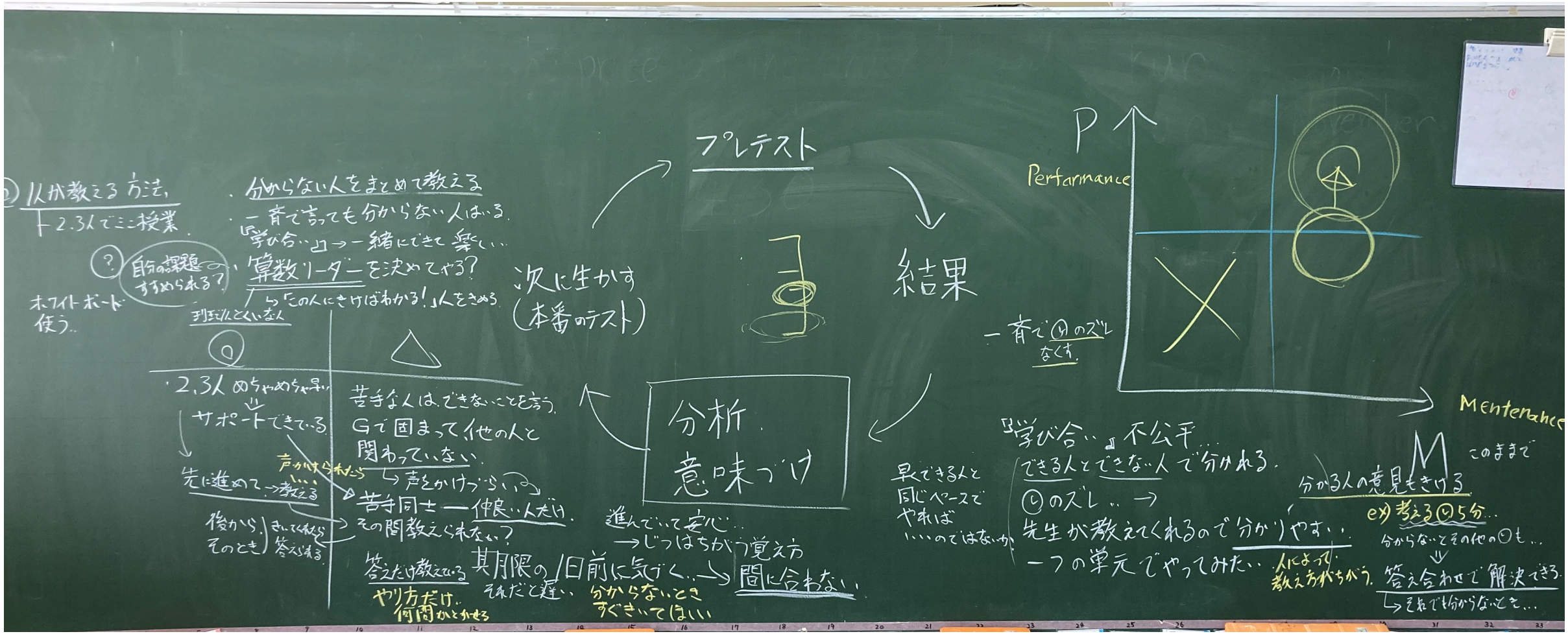
実際の場面②　「作家の時間」の体験学習サイクル



実際の場面③　なわとび大会での振り返り



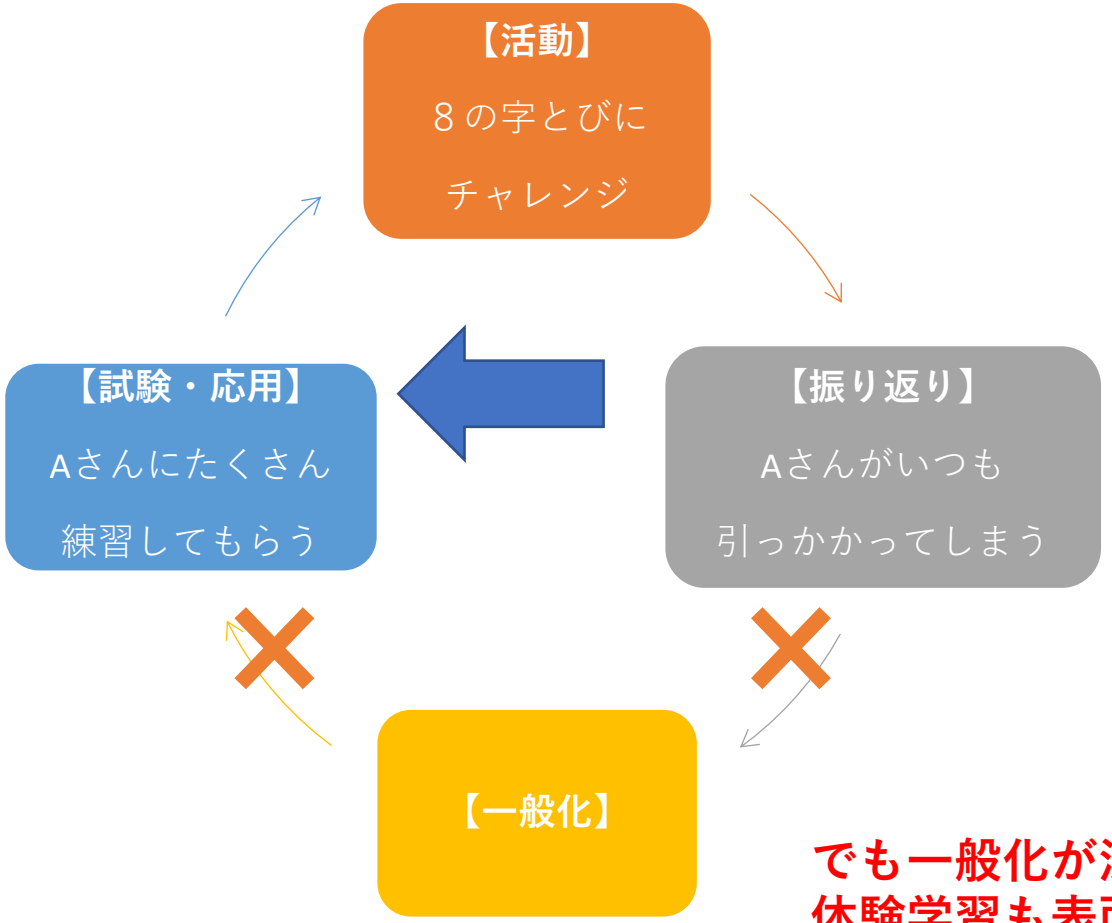
実際の場面④　算数の学び方の振り返り



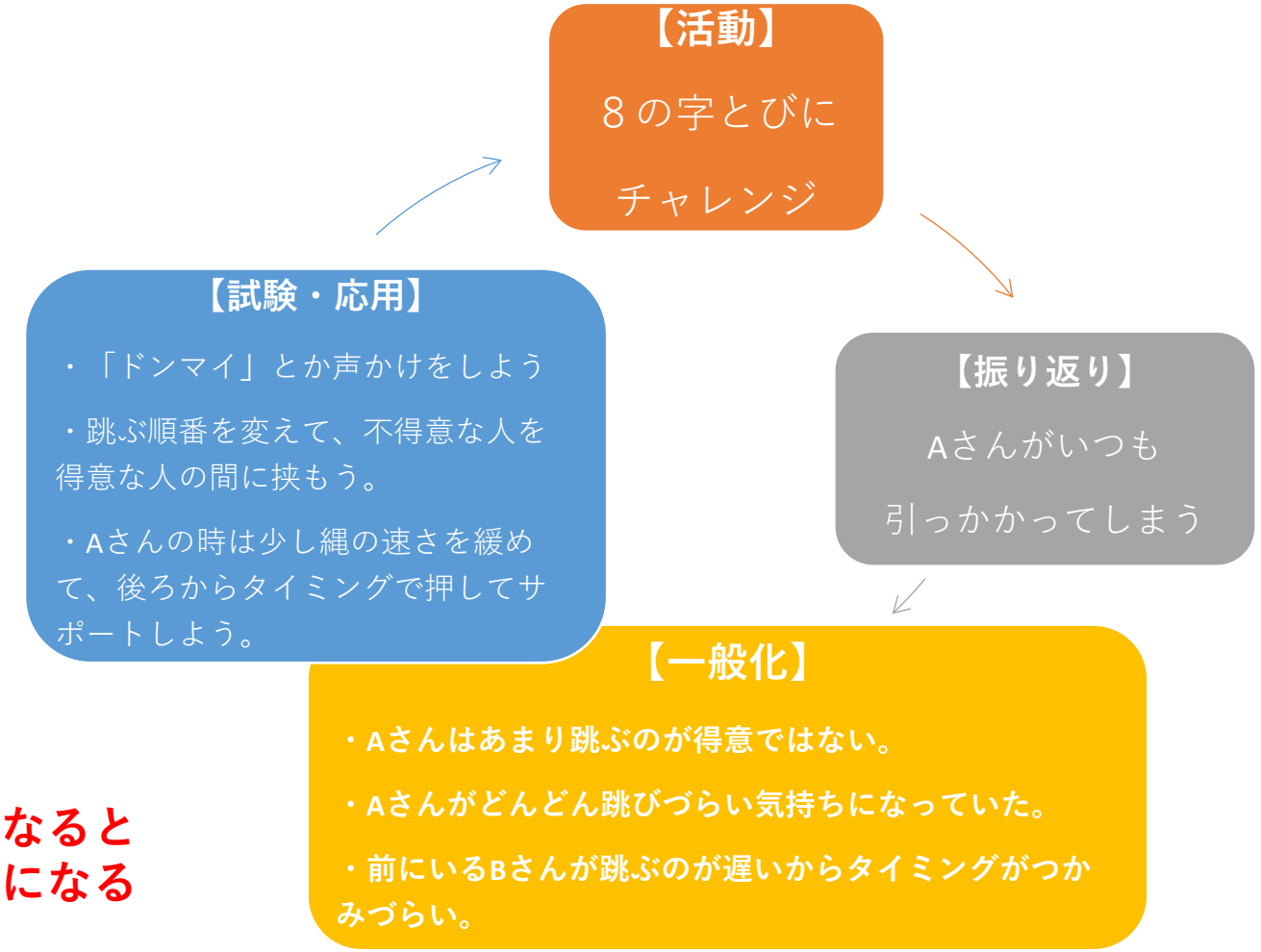
ココがポイント！

特に大事なことが「一般化」

- 表面的なことだけで“試験・応用”



- 一般化を深めて“試験・応用”



でも一般化が浅くなると
体験学習も表面的になる

発表の流れ

■１　自己紹介
■２　学級の様子
■３　体験学習サイクル
□４　ホワイトボード・ミーティング®
□５　まとめ

4　ホワイトボード・ミーティング®とは

先生と子どもたちが
ファシリテーターになる！

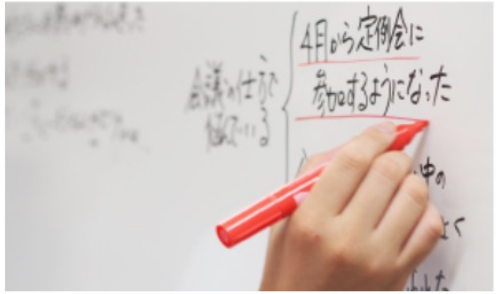
©株式会社ひとまち

ひとりひとりの力が活かされる効率的、効果的な話し合いの進め方です。気軽な打合せから困難な課題解決まで、合意形成や具体的な行動プランが決まり、参加者みんなが元気になる会議です。2003年にちょんせいこ（株式会社ひとまち代表）が開発し、教育、医療、福祉、ビジネス、行政、ボランティアなど、多様な領域で取り組まれています。

株式会社ひとまちホームページより　https://wbmf.info/

4　ホワイトボード・ミーティング®とは

✔ 特徴1
意見を可視化しながら進めます



意見が蓄積されて話がぶれずに進みます。

意見を書くことで「承認しあう関係」を育みます

✔ 特徴2
ファシリテーターとサイドワーカー

進行役のファシリテーターは、練習すれば誰もができます。

参加者はサイドワーカーと呼びます

株式会社ひとまちホームページより　https://wbmf.info/

4　ホワイトボード・ミーティング®とは

✔ 特徴3
質問の技で深い情報共有を進めます

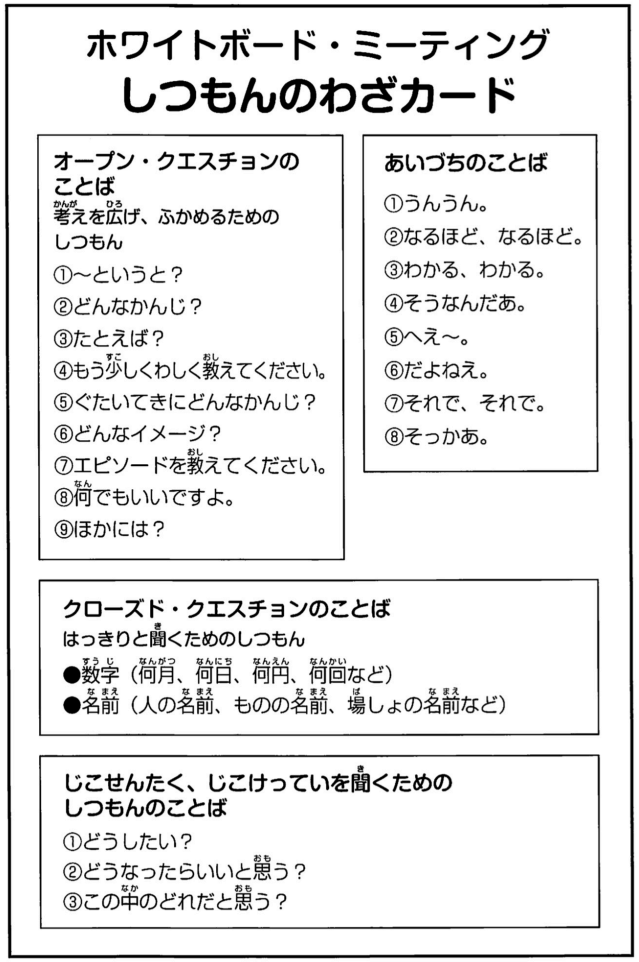
「ホワイトボード・ミーティング®質問の技カード」で合意形成と課題解決を促進します

✔ 特徴4
マーカーの色を分けて、話し合いのプロセスを作ります

発散（黒）：意見をドンドン出し、オープン・クエスチョンで深めます

収束（赤）：軸を決めて、出た意見を方向づけます（意見の構造化）

活用（青）：具体的な行動や活動計画を決めます



ホワイトボード・ミーティング
しつもんのわざカード

オープン・クエスチョンのことば
考えを広げ、ふかめるためのしつもん
①～というと？
②どんなかんじ？
③たとえば？
④もう少しくわしく教えてください。
⑤ぐたいてきにどんなかんじ？
⑥どんなイメージ？
⑦エピソードを教えてください。
⑧何でもいいですよ。
⑨ほかには？

あいづちのことば
①うんうん。
②なるほど、なるほど。
③わかる、わかる。
④そうなんだあ。
⑤へえ～。
⑥だよねえ。
⑦それで、それで。
⑧そっかあ。

クローズド・クエスチョンのことば
はっきりと聞くためのしつもん
●数字（何月、何日、何円、何回など）
●名前（人の名前、ものの名前、場しょの名前など）

じこせんたく、じこけっていを聞くためのしつもんのことば
①どうしたい？
②どうなったらいいと思う？
③この中のどれだと思う？

株式会社ひとまちホームページより　https://wbmf.info/

4　ホワイトボード・ミーティング®とは

特徴5

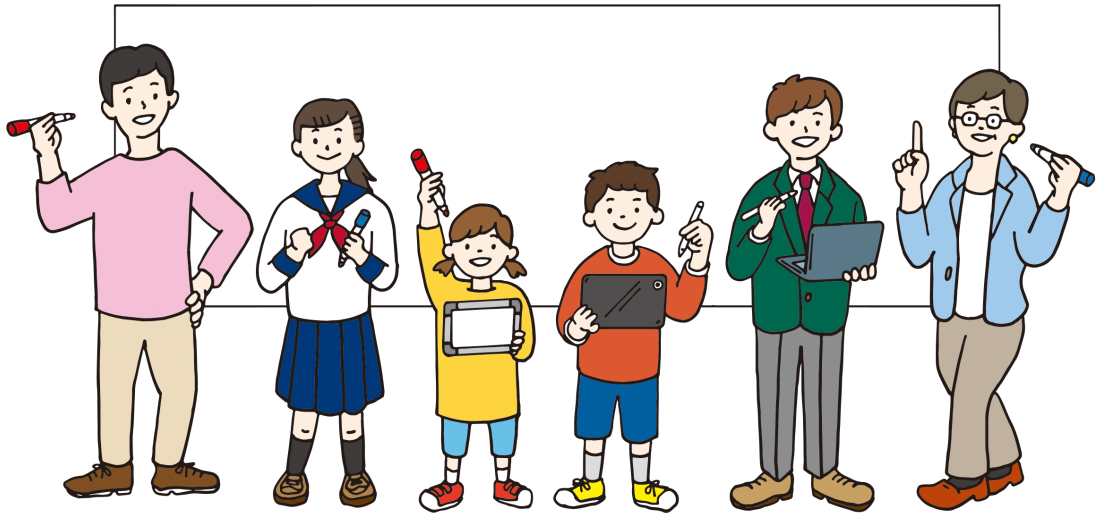
６つの会議フレームを組み合わせて進めます

①定例進捗会議	④情報共有会議
②役割分担会議	⑤課題解決会議
③企画会議	⑥ホワイトボードケース会議

株式会社ひとまちホームページより　https://wbmf.info/

4　ホワイトボード・ミーティング®とは

ホワイトボード・ミーティング®
私の構成要素を活用した自己紹介



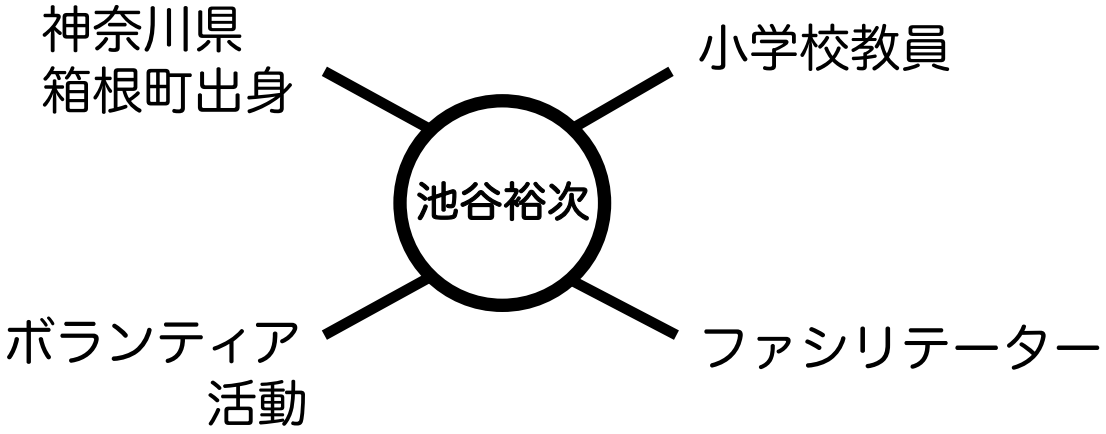
ホワイトボード・ミーティング®私の構成要素

池谷裕次

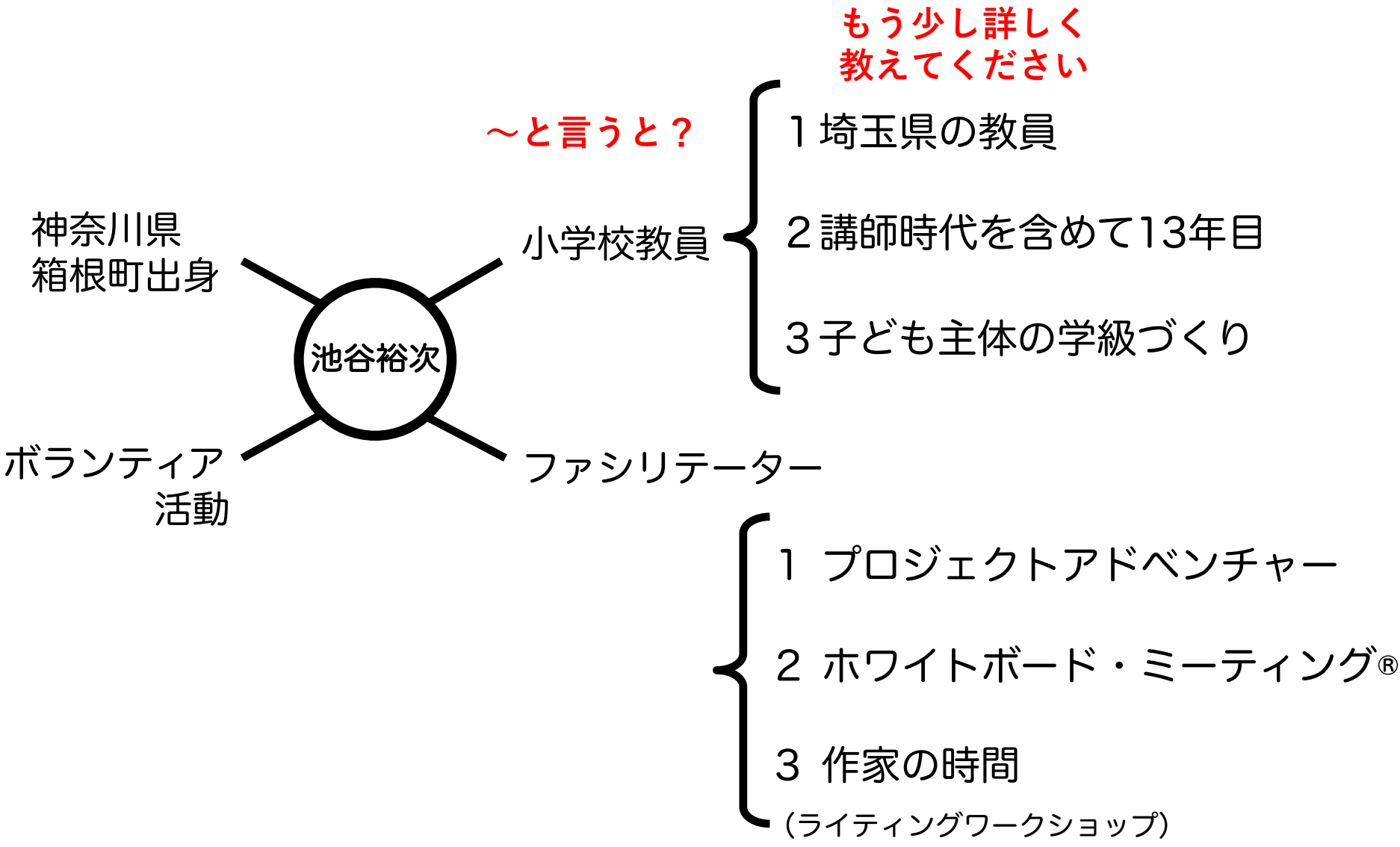
ホワイトボード・ミーティング®私の構成要素

ホワイトボード・ミーティング®私の構成要素

～と言うと？



ホワイトボード・ミーティング®私の構成要素



ホワイトボード・ミーティング®私の構成要素

池谷裕次

神奈川県
箱根町出身

1 実家は温泉旅館

2 ボードゲーム
５００種類

3 ねこ

ボランティア
活動

1 アカデミー
キャンプ

2 JC・地域活動

3 子ども研究
ネットワーク

小学校教員

～と言うと？

もう少し詳しく
教えてください

1 埼玉県の教員

2 講師時代を含めて13年目

3 子ども主体の学級づくり

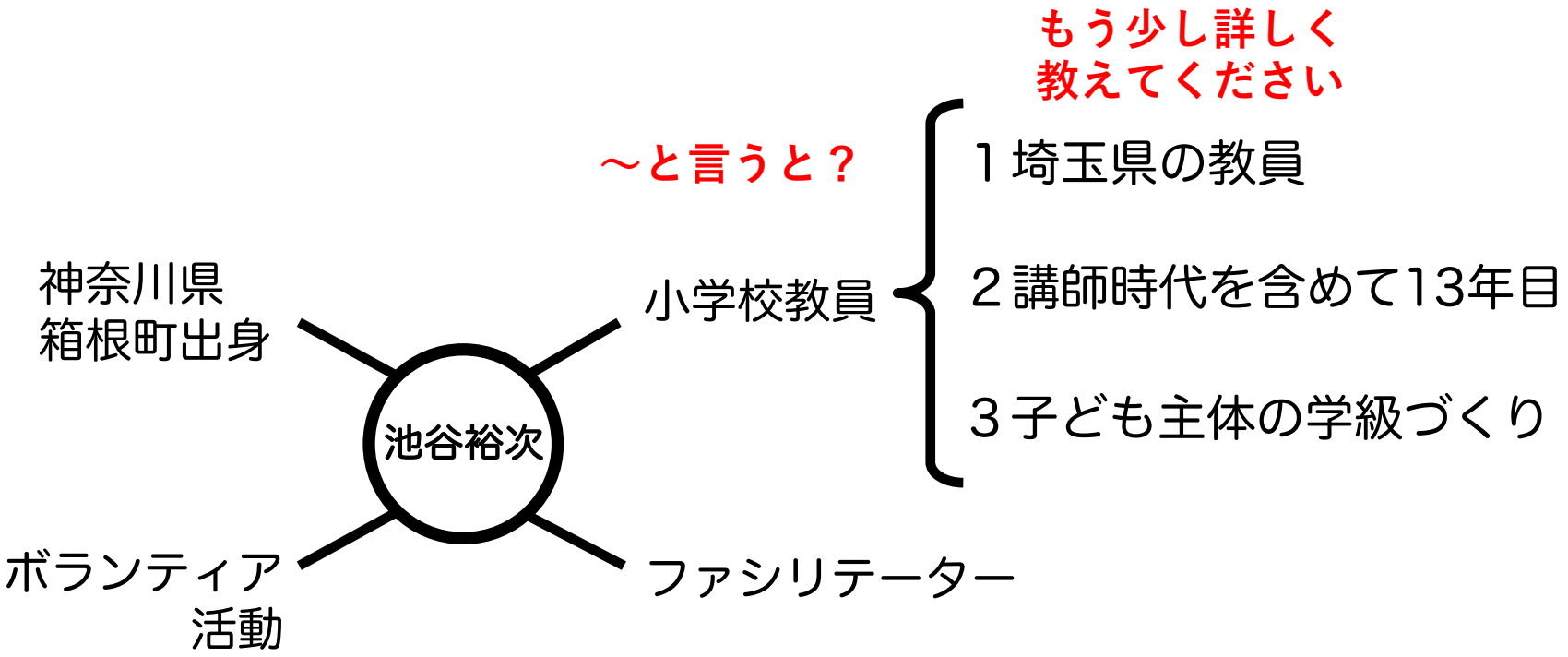
ファシリテーター

1 プロジェクトアドベンチャー

2 ホワイトボード・ミーティング®

3 作家の時間
（ライティングワークショップ）

ホワイトボード・ミーティング®私の構成要素



右上の「思考の枝」をさらに深めて伸ばしてみたいと思います

質問の技カード「エピソードを教えてください」

ココがポイント！

神奈川県
箱根町出身

ボランティア
活動

池谷裕次

小学校教員

1 埼玉県の教員
2 講師時代を
含めて13年目
3 子どもが真ん中
の学級づくり

ファシリテーター

1 今年は初の５年生の担任
2 子どもたちも
ファシリテーターになる練習
3 運動会やビブリオバトルを
進める姿に感動

ココがポイント！

2

第１階層

2

3

第４階層

エピソードを教えてください。

神奈川県
箱根町出身

小学校教員

池谷裕次

ボランティア
活動

ファシリテーター

1 埼玉県の教員
2 講師時代を含めて13年目
3 子どもが真ん中の学級づくり

1 今年は初の５年生の担任
2 子どもたちもファシリテーターになる練習
3 運動会やビブリオバトルを進める姿に感動

浅い
＝
話しあいが成立しにくい

深い
＝
話しあいが成立しやすい

エピソードまで深める

２つのポイントを組みあわせる！

振り返り・一般化を促進する

発散（黒）：意見をドンドン出し、オープン・クエスチョンで深めます

収束（赤）：軸を決めて、出た意見を方向づけます（意見の構造化）

活用（青）：具体的な行動や活動計画を決めます

収束（焦点化）
と
活用（具体的な
行動計画）

【試験・応用】

・「ドンマイ」とか声かけをしよう

・跳ぶ順番を変えて、不得意な人を得意な人の間に挟もう。

・Aさんの時は少し縄の速さを緩めて、後ろからタイミングで押してサポートしよう。

【活動】

８の字とびに

チャレンジ

【振り返り】

Aさんがいつも

引っかかってしまう

【一般化】

・Aさんはあまり跳ぶのが得意ではない。

・Aさんがどんどん飛びづらい気持ちになっていた。

・前にいるBさんが跳ぶのが遅いからタイミングがつかみづらい。

ホワイトボード・ミーティング®で
思考と対話を深めると

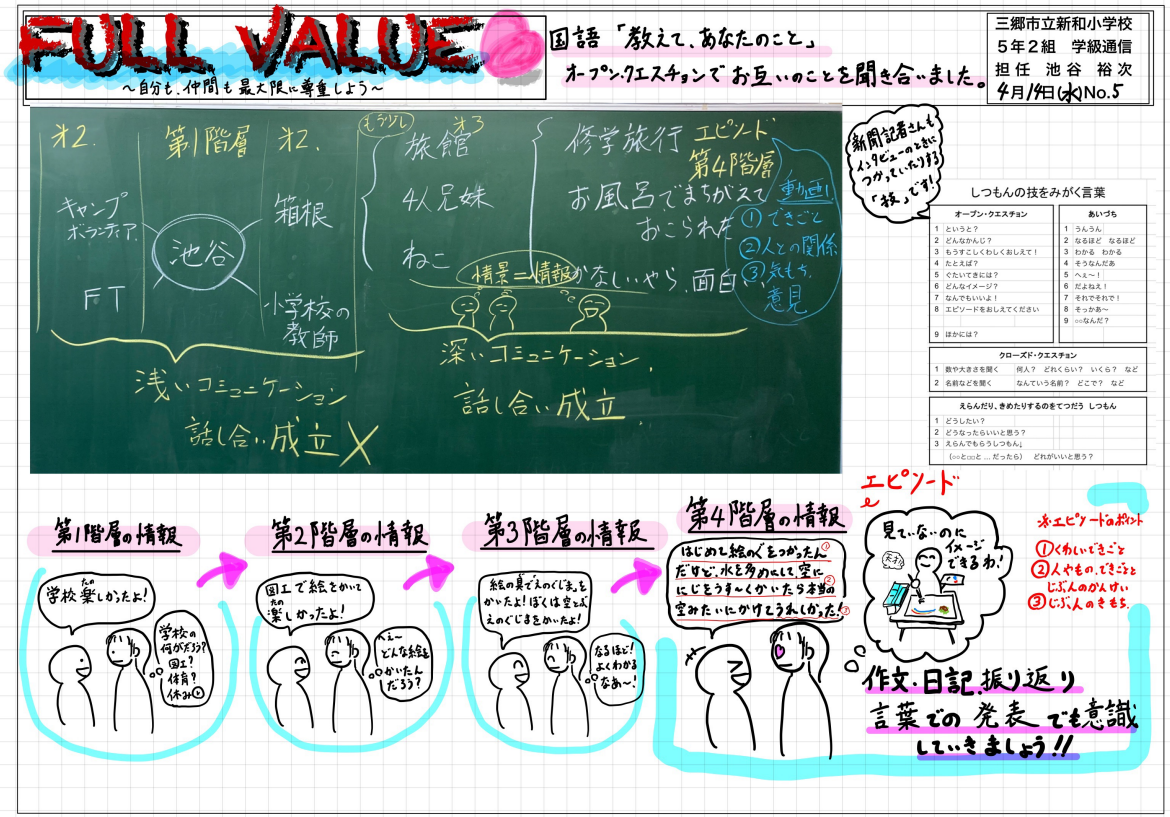
・自分や相手のことを理解する
・問題の本質に気づいて
　具体的な行動に結びつきやすくなる

エピソード
まで深める

実際の場面①　学級活動

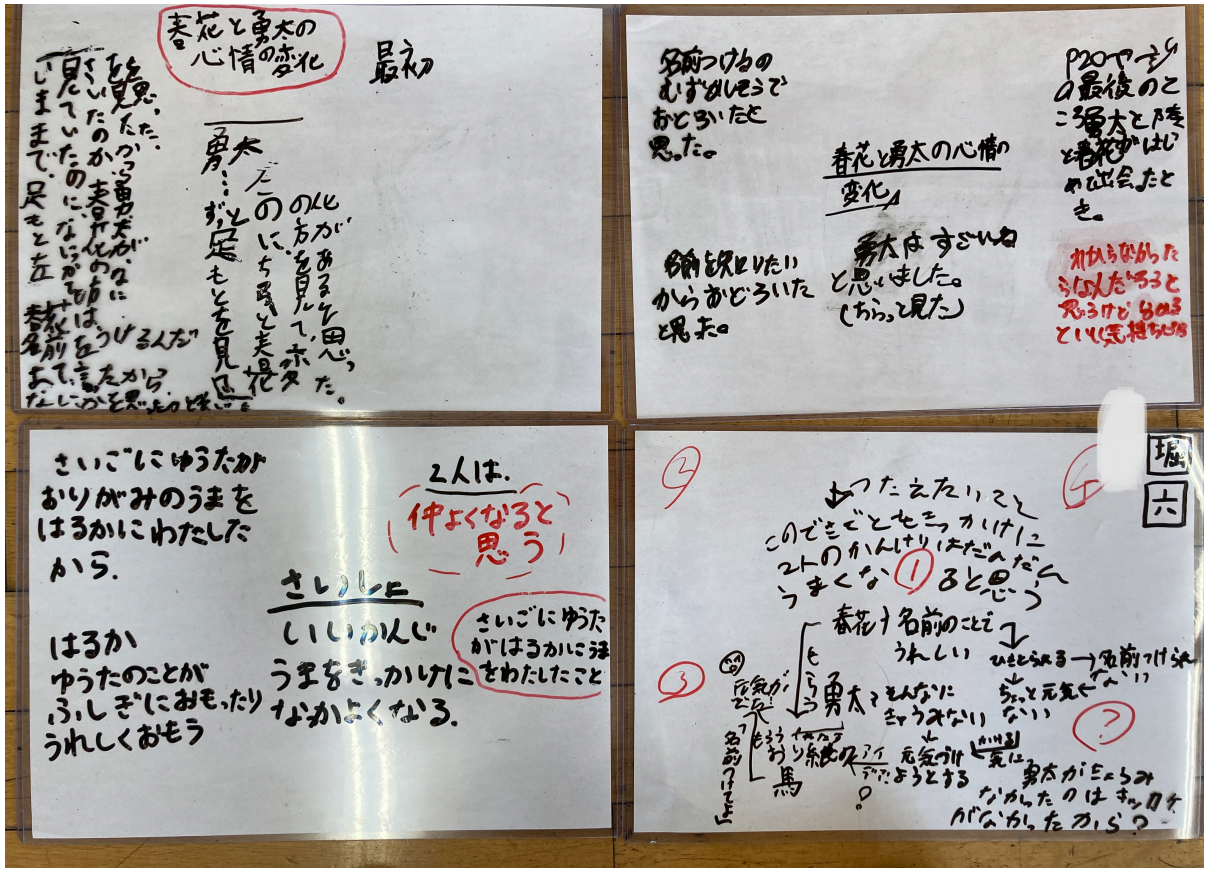
朝の会のペアコミュニケーション　エピソードまで話すことに慣れる

(4月～)



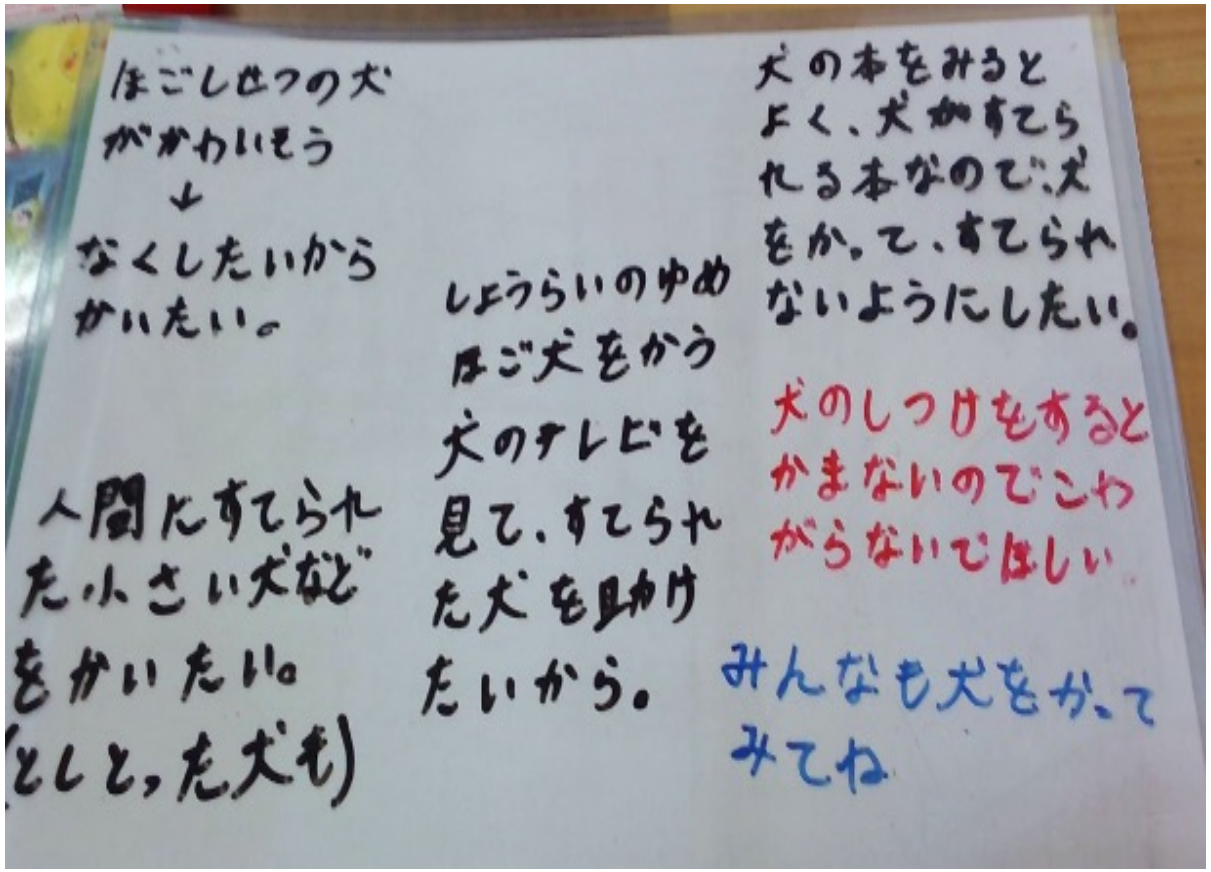
実際の場面② 授業

国語「名前つけてよ」



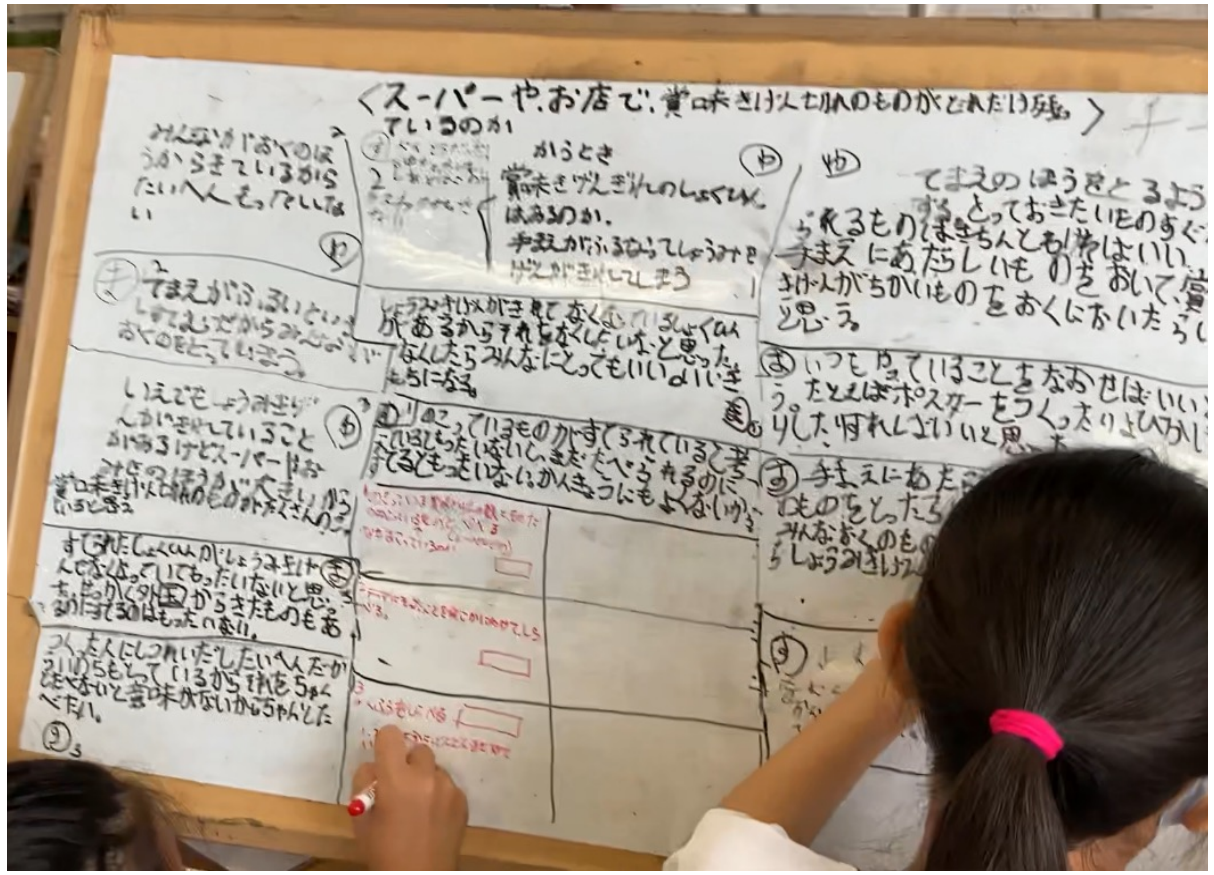
実際の場面③ 授業

国語「きいて きいて きいてみよう」



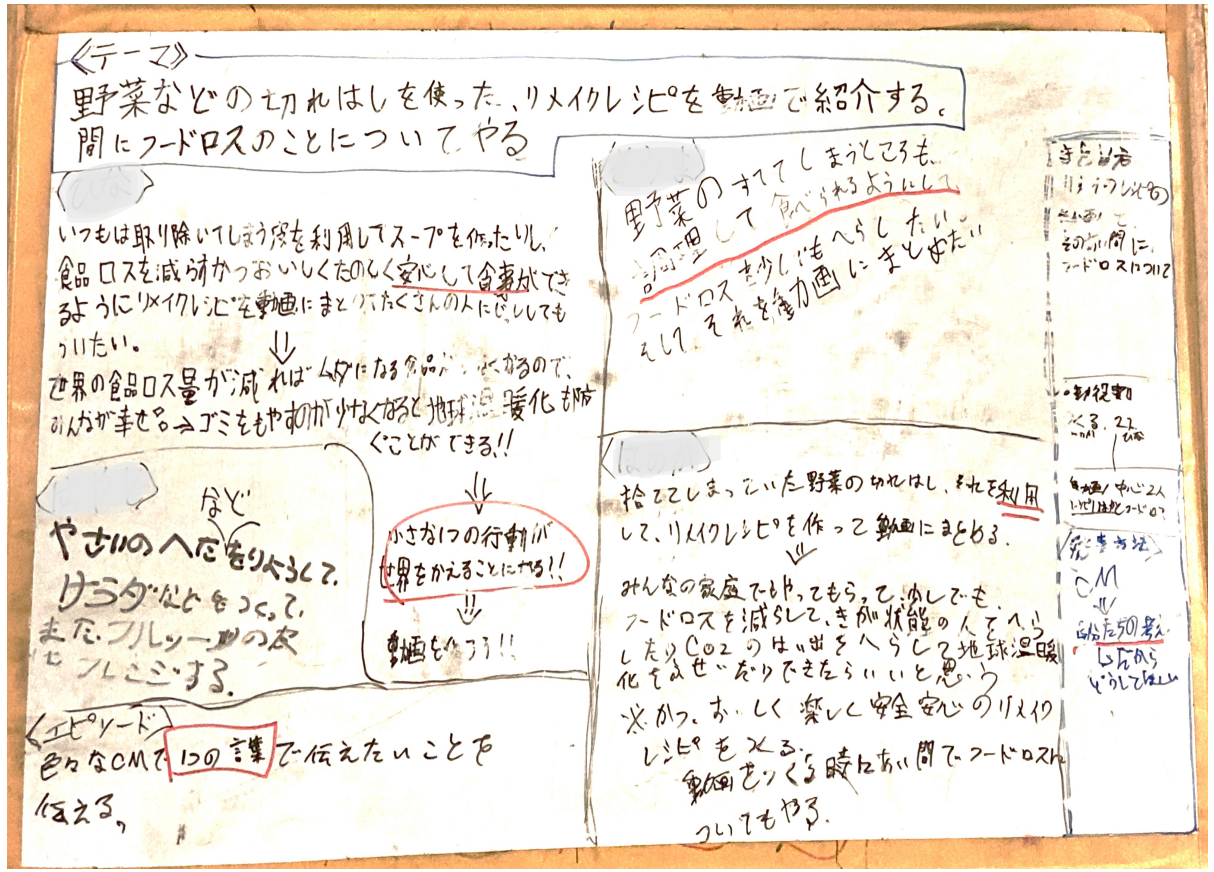
実際の場面④ 授業

総合的な学習の時間「食品ロス」について　（１学期）



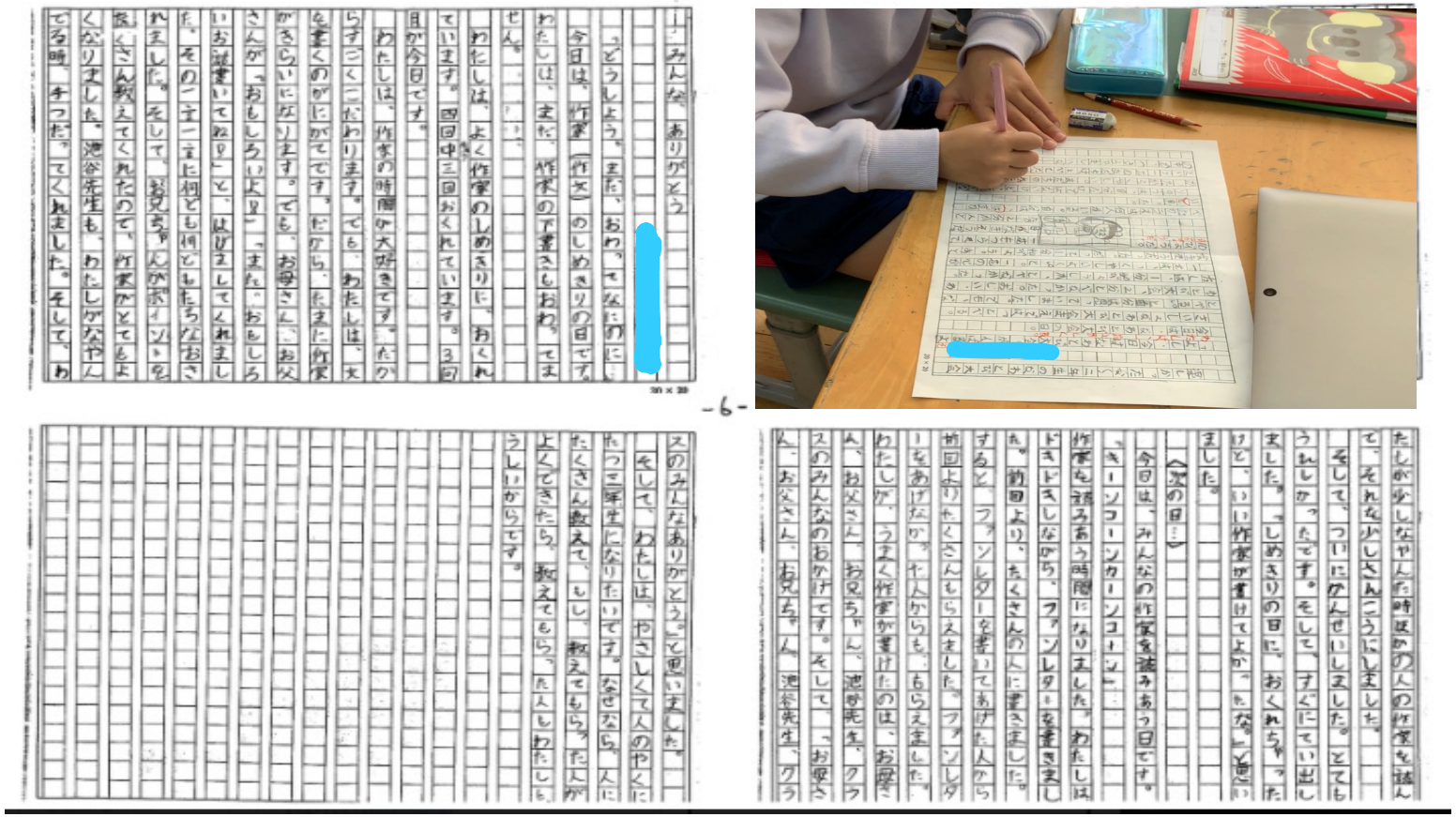
実際の場面④ 授業

総合的な学習の時間「食品ロス」について　（２学期）



実際の場面⑤ 授業

2年生での実践「楽しかったよ2年生」



振り返りジャーナルから思い出を選ぶ

↓

ペアでホワイトボード・ミーティング®

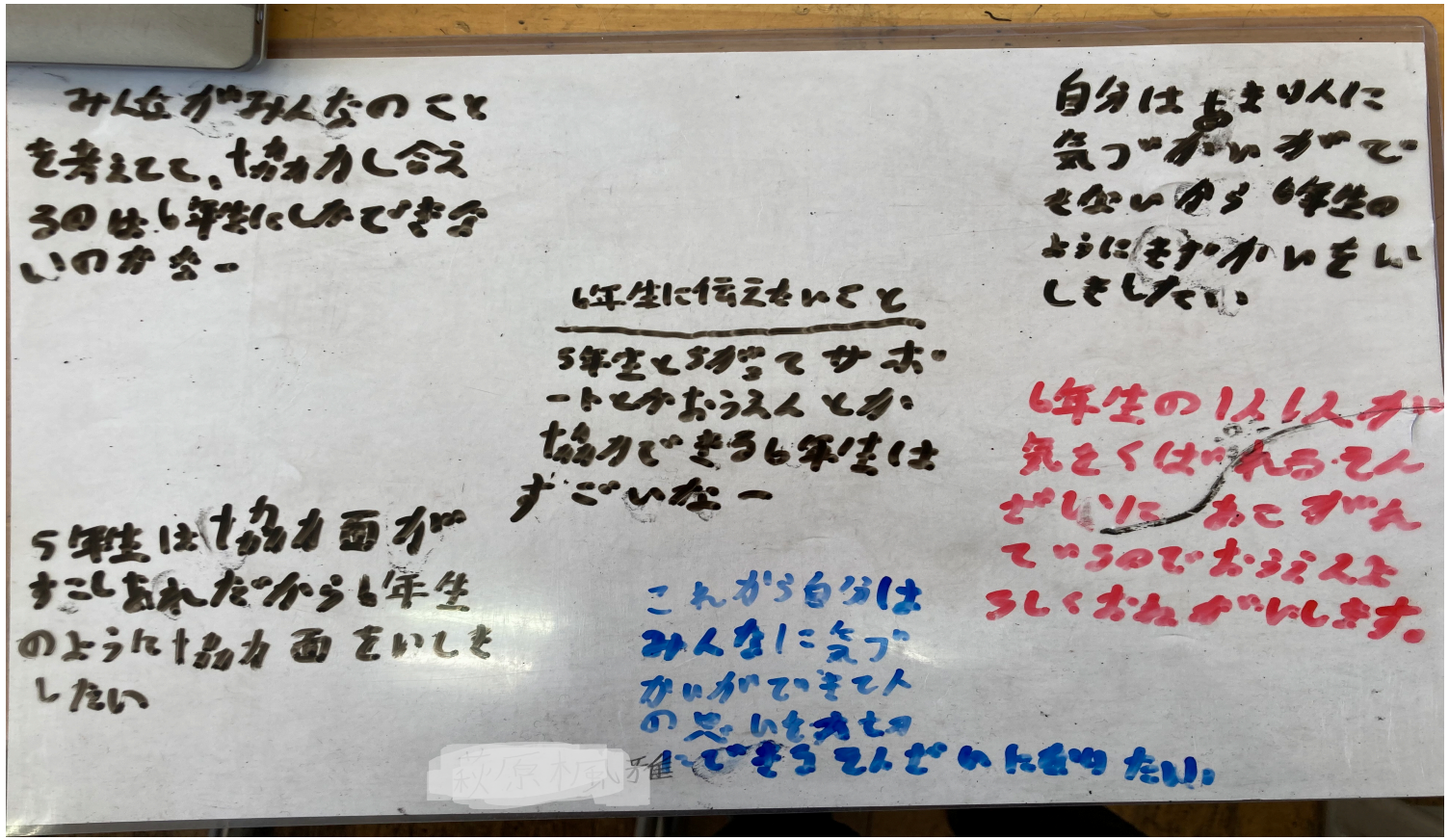
↓

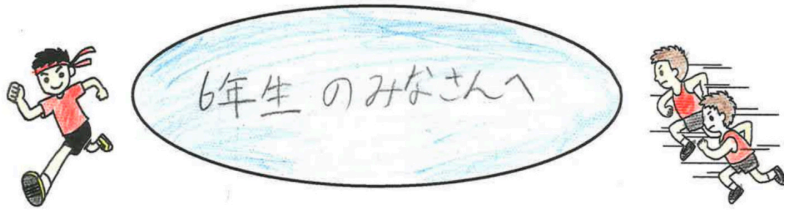
自分を主人公にした思い出を物語風に書く。

4　ホワイトボード・ミーティング®とは

実際の場面⑥ 行事

陸上記録会を見ての6年生へのお手紙





ぼくが6年生のみなさんに伝えたいことは
陸上記録会を見ていて見習いたいと思った事が
いくつもあったということです。
一つ目は「思いやり」です。6年生のみなさんは、
だれかが失敗したとしてもほかの人が支えてく
れたりできるのはすごいと思い来年ぼくたちも
そうできたらいいなと思いました。
二つ目は「団結力」です。6年生はHEROSとして
団結しているのも見習いたいと思いました。
そしてぼくたちが6年生になったときにはHEROS

5年 2組 名前（[redacted]）

発表の流れ

■１　自己紹介
■２　学級の様子
■３　体験学習サイクル
■４　ホワイトボード・ミーティング®
□５　まとめ

5　まとめ

成果と課題　今後に向けて

成果

主体的・対話的で深い学びの充実

①体験学習サイクルを自ら回し、指示をされなくても、自分で考えて行動したり、楽しんで活動したりする姿が増えた。

②子ども達自身がファシリテーターとなり第３、第４階層まで深めた思考や、コミュニケーションができるようになってきている。

ex) 教科・行事 思考を深める活動
ex) 学級会・道徳 話合い活動
ex) 教室内での良好な関係性

課題

ファシリテーション技術の向上

①適切な場面（授業・学級活動等）とタイミングでホワイトボード・ミーティング®を活用すること。

（教師のアセスメント・プログラムデザイン）

②子ども達自身の判断で、適切に体験学習サイクルを回し、必要に応じてホワイトボード・ミーティング®等のツールを使えるようになること。

（子ども達のファシリテーション技術の向上）

参考・引用文献

「クラスの力を生かす教室で実践するプロジェクトアドベンチャー」
（プロジェクトアドベンチャージャパン著　みくに出版）

「クラスがひとつになる学級ゲーム＆アクティビティ１００」
（甲斐崎博史著　ナツメ社教育書ブックス）

「ちょんせいこのホワイトボード・ミーティング」
（ちょんせいこ著・小学館）

「ホワイトボード・ミーティング®検定試験 公式テキストBasic３級」
（株式会社ひとまち）

イラストレイアウト協力　株式会社ひとまち

ご清聴ありがとう
ございました。

- 子どもが真ん中、まだまだ道半ば
- これからさらに子ども達が主役になれる
  クラスを目指していきます。